

平成24年度 一般会計 予算見積 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	2. 教育センター管理運営事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	4. 教育センター費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
経常	単独		1,456	△26	0		平成24年度	0
							平成25年度	0
							平成26年度	0
							平成27年度	0
							平成28年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		1,430
本年度当初査定額		

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								1,430
本年度当初査定額								

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 佐倉教育ビジョン推進計画に基づき、学習指導要領の趣旨を生かした特色あるカリキュラムの編成や学力向上を図るための指導法の工夫改善など、学校教育における教育課題に関する調査・研究を行う。</p>	<p>(事業の目的) 市内の小・中学校の児童生徒や教職員、保護者の教育課題についての調査研究をし、集計・分析・考察の一連の流れの中で、教育委員会の施策の改善を図るため、運営していく。</p>	<p>(事業の効果) 佐倉市の教育現状を把握するための調査・研究を行い、新しい時代に対応した佐倉市の特色を生かした教育の研究、開発を推進する。市内小中学校の研究推進のための指導・助言を積極的に行う。また、児童生徒の学力向上を目指した指導法の改善のための調査・研究・開発を行い、今後とも後期教育ビジョンの実施に取り組む。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 全国学力・学習状況調査が抽出校での実施になり、市内全校で実施の佐倉市学習状況調査のあり方を検討していく必要がある。調査の結果をさらに学校での指導に役立てられるようにしていく。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 相談室や資料室の整備や学習状況調査を進めるうえで、新たな備品が必要となっている。教育センターでの調査研究を広く知っていただくことを目的としてセンター紀要やリーフレットを作成していく。各種調査について力を入れていく。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 教育センターは、教育関係者だけでなく、多くの市民に有益な情報を発信していきたいと考えている。また、資料室などもより多くの市民に活用していただきたいと考えている。開設から9年が経ち、今まで以上に市民のニーズに応えられるよう、調査研究を深めるとともに、教育相談業務も充実させていきたい。</p>

節	本年度 当初要求額	前年度 当初予算額	増減額
09	300	300	0
11	706	730	△24
12	150	150	0
14	200	200	0
18	64	66	△2
19	10	10	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	1,430		1,456